

10 月 30 日：VN 指数は引け間際に下落 (VN-Index -1.72%)

- 先週末は上昇していたが、米国株の下落の流れを受けて、VN 指数も下落して取引を開始した。
- その後、指数は落ち着いた動きとなったが、警戒感が残っていた。そのため、低い流動性の中で横ばいの動きが続いた。
- 石油ガス、鉄鋼を除く多くのセクターが下落していた。
- 午後に入ると、投資家心理は改善したかのように思われ、指数は徐々に基準価格に向かって反発をしていた。
- しかしながら、引けにかけて売りが急増し、指数は大きく下落して取引を終えることとなった。
- 111 銘柄が上昇、393 銘柄が下落、56 銘柄は変わらずと売りが優勢だった。
- 流動性は 25.8%低下し、売買代金は 10.1 兆ドンのみだった。

VN30 指数は下げを主導 (VN30 -1.87%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 4 銘柄のみが上昇、25 銘柄が下落、1 銘柄は変わらずだった。
- 指数の下げ寄与度では、BID (-2.38%)、GVR (-6.74%)、TCB (-4.91%) が挙げられる。その他、STB (-5.92%)、SSI (-6.62%)、SAB (-3.65%)、MWG (-3.57%) など大きく下落した。
- 一方、VCB (+1.06%) が相場下落を和らげた。

セクター・個別株の動き

- SMC (-6.99%) がストップ安。第 3 四半期に 1780 億ドンの損失を計上し、不良債権は 1.3 兆ドンに増加していた。
- RDP (+0.99%) は上昇を維持していた。第 3 四半期の純利益が 1,646%増の 300 億ドンとなったことが好感された。

- 外国人投資家は 890 億ドルの売り越しとなった。引き続き VHM が売られた。一方、DGC は大きく買い越されていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。